

人形劇団ペロッコクラブ

高校生ボランティア・アワード2024

教えて！

ペロッコって

どんなところ？

大スクープ！

二頭身の人形に隠された魅力

二頭身で大きく開く口。腕も動かせるし、なによりも可愛い。それが私達の人形だ。人形は人間のように表情も変わらないし、体も動かせる動きには限りがある。演劇のほうは表現の幅が広いと考える人もいると思う。
しかし、人形には人と異なる良さがある。

人形を使えば、空を飛んだりできるし、同じ人形を二つ用意して早着替えや瞬間移動をしたりもできる。魔法を使うアラジンやピーターパンという作品も、よりリアルでワクワクする作品にできる。

また、人形を使えば自分とは異なる人になることができる。例えば、体型、国籍、性別、性格など自分の理想通りに変えられる。これは人形の持つ最大の魅力だ。

そして人形を使えば初対面の相手とも距離をぐと縮めることが出来る。人が急に顔を近づけたら相手は驚いてしまうだろう。だが人形が近づくとどうだろう。お客さんは人形を「可愛いね」と撫でたり挨拶してくれたりする。
・・・これって

凄いいことだと思いませんか？



活動概要

人形や脚本、大道具まですべて部員たちが1から作り上げています。長期休暇に保育園や障害者施設、老人ホームで人形劇の公演をしています。

◆ コロナウイルスの影響で公演が中止になることが多くありましたが、徐々に公演数も増え、お客さんとの距離がより近くなってきました。

◆ 部員一丸となって工夫をしながら、お客さんだけでなく、私達も楽しんで人形劇を作り上げることが私達の喜びや原動力につながっています。

活動目的

「全員が楽しめる劇を」

私達の人形劇は、小さな子供からお年寄りまで様々な年齢層の方に「買いた」だいでいます。

例えば、保育園に公演に行く際は、暗い場所が苦手な子がいる可能性もあるため、事前にとどの程度の暗さなら大丈夫かを確認しています。

お年寄りには大きく聞き取りやすくするためスピーカーを通してより声が届くようにしたりとそれぞれの特性に合わせて公演していきます。



雪の女王公演(昨年度冬公演)



白雪姫の公演(昨年度春公演)

手遊びと歌が持つ効果

出張公演では人形劇は勿論、公演の最初と最後に手遊びをしたり人形と一緒に歌を歌ったりする。観客も参加できる手遊びでは、注意を舞台に引き付ける効果がある。



例えば保育園等で子どもを相手にする時は手遊びの「はじまるよ」を歌うことが多い。子供がよく知っているこの歌を歌って前に立つキャストの手の動きを真似してもらおう。最後の振り付けで手を隣に置いてもらうことで、前を向いて人形劇に集中してもらおう準備を整えている。みんなが歌う行為は一体感を生み出し、時間やリズム歌詞を共有する喜びを味わうことが出来る。

めでたしめでたしだけで終わらせない劇

ペロッコでは劇の結末を「ピピ」として終わりにしているが、メッセージも伝えられる劇にもしている。

例えば昨年公演した白雪姫は原作では女王様は死んでしまうのだが、劇では女王様は死なずに自分と反省するストーリーにした。白雪姫の劇では女王様は容姿にとらわれていたが、大事なものは見た目はなく本質だというメッセージを伝えたかった。楽しい劇にするだけでなく、高校生の私達がこれからどんな人に、社会にしたいかという思いを劇を通じて伝えることも私達の役割だと考える。

団体プロフィール

今年で創立77年を迎えるボランティア団体。2024年度は一年生2人、二年生7人、三年生10人の計19名で活動しています。ただ観るだけではつまらない！観客の皆さんが楽しんで参加できる劇を作り上げており、人形劇だけでなく観客の皆さんとの交流も大事にしています。

長く続くコロナ禍で徐々に取り戻していく「伝統あるペロッコ」と「新しいペロッコ」を融合させ、いかに自分たちが楽しみたいか、全員が楽しめる劇を作り上げる、ことができるかを日々模索しています。

今後の活動

コロナ禍が明けて公演数も徐々に増えてきた。そして制限が徐々に緩和されてお客さんとの交流ももともと出来るようになった。人形劇の公演だけでなくお客さんとの交流も増やしていくと同時に人形劇の他にどのような交流をすればお客さんがもっとたのしんでくれるか交流の仕方を新たに考えていきたい。



皆さんに楽しんでもらえる劇を作っています！